

接種呼び掛け中止

厚労省 副作用情報で一転

厚生労働省は14日、子宮頸がんワクチンの接種を積極的に呼び掛けるのを一時中止するよう、全国の自治体に勧告した。接種対象者への案内送付などは取りやめるが、効果を重視して接種を希望する人のため、ほとんどの自治体で無料で受けられる定期接種からは外さない。副作用情報を基に安全性を検討する厚労省の専門部会が同日、症例数は少ないが接種によって長引く激しい痛みが起きてくる可能性が高く、実態解明が進み、適切な情報提供ができるまで積極的に勧めるべきではないと結論付けたことを受けた。

(27面に関連記事)

定期接種化から2カ月半

子宮頸がんワクチン 部会の座長を務める桃井真里子・国際医療福祉大副学長は「(副作用の)正確な発生頻度を出す必要がある」となったばかり。専門強調するが、接種呼び

クリックを占めるタイプの感染予防に効果がある。子宮頸がんは、20〜30代の若い患者が増え、4月以降、小学6年から高校1年相当の女子を対象として原則無料の定期接種となった。筋肉注射で接種する。

| | 副作用の発生率 | 重篤な副作用の発生率 |
|----------------------|---------|------------|
| 子宮頸がん予防ワクチン(サーバリックス) | 245.1 | 43.3 |
| 子宮頸がん予防ワクチン(ガーダシル) | 155.7 | 33.2 |
| ヒブワクチン | 63.8 | 22.4 |
| 小児用肺炎球菌ワクチン | 89.1 | 27.5 |
| 不活化ポリオワクチン | 23.8 | 5.3 |
| 日本脳炎ワクチン | 67.4 | 25.7 |
| インフルエンザワクチン | 7.5 | 2.3 |

(発生率は接種100万回当たりの発生数)

期接種の対象となっていないワクチンの接種呼び掛けを中止するのは、2005年の日本脳炎ワクチン以来2例目。部会では、副作用報告の中で、痛みが体の

広範囲に及んだ38症例を重点的に分析。発症のタイミングなどから「接種との関係が否定できない症例が多くありそう」とした。子宮頸がんワクチンは2社が販売している。厚労省のまとめでは、副作用の報告はラクス・スミスクリヤ社の「サーバリックス」が接種100万回当たり245・1回、MSD社の「ガーダシル」は同155・7回。同時期に定期接種になった小児用肺炎球菌ワクチンは同89・1回、日本脳炎ワクチンは同67・4回などだった。

長崎2女性殺

地裁判決「理



筒井郷太被告

長崎県西海市で2011年、ストーカー行為をしていた相手の女性(24)の母と祖母を殺害したとして、殺人罪判決に問われた筒井郷太被告(28)は三重県桑名市で、長崎地裁は14日、求刑通り死刑を言い渡した。(27・28面に関連記事)判決理由で重富朗裁

子宮頸がんワクチン呼び掛け中止 被害団体「大きな一歩」

厚生労働省が14日、子宮頸がんワクチン接種の積極的勧奨を控えることを決めた。接種による健康被害を訴えてきた「全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会」の松藤美香代表(46)は会合後、「良かった。大きな第一歩です」と涙ぐんだ。

(1面関連)

中学3年の長女は2011年、頸がんワクチンの一つ、サーバリックス接種後に体の痛みを訴えて「慢性疼痛

症候群」と診断された。自力で歩けなくなり、今も車いすに乗っている。症状がひどくなつた際には休学せざるを得なかった。

同様に健康被害を訴える親たちと連絡会を設立したのは今年3月。全国の学校で被害実態を調査するよう文部科学省に要望したり、連絡会に寄せられた副作用情報を厚労省に提供したりして、接種中止を訴えてきた。2時間以上にわたつた厚労省専門部会の議論の行方を、祈るような表情で聞いていた松藤さん。会合が終わり、報道陣に囲まれると「(求めていた)接種中止ではなかったが、ありがたい。娘にもうれしい報告が

きます」とほっとした表情を浮かべた。「長女は『私のような体の子が増える』と困ると話していた」と明かす。国に副作用被害の実態に関する情報収集や治療支援を求めた。

療法確立の見通しが無いことから同部会の桃井真里子座長が「(副作用)リスクについて」国民に適切な情報提供ができる段階ではない」と強く反論。一部の委員の提案もあり、一転して定期接種の道を残しつつも積極的な呼び掛けをしないという判断に落ち着いた。

ただワクチンは国内で年間約2700人が死亡する子宮頸がんの予防に大きな効果があるとされ、期待の声も根強い。厚労省には保護者や対象者が安心して接種を受けられる環境づくりが求められている。

(菊池太典・共同)

た厚労省専門部会の議論の行方を、祈るような表情で聞いていた松藤さん。会合が終わり、報道陣に囲まれると「(求めていた)接種中止ではなかったが、ありがたい。娘にもうれしい報告が

きます」とほっとした表情を浮かべた。「長女は『私のような体の子が増える』と困ると話していた」と明かす。国に副作用被害の実態に関する情報収集や治療支援を求めた。

療法確立の見通しが無いことから同部会の桃井真里子座長が「(副作用)リスクについて」国民に適切な情報提供ができる段階ではない」と強く反論。一部の委員の提案もあり、一転して定期接種の道を残しつつも積極的な呼び掛けをしないという判断に落ち着いた。

ただワクチンは国内で年間約2700人が死亡する子宮頸がんの予防に大きな効果があるとされ、期待の声も根強い。厚労省には保護者や対象者が安心して接種を受けられる環境づくりが求められている。

(菊池太典・共同)

保護者の一部にある激しい痛みへの不安に配慮したものだ。同省は副作用情報の迅速な提供とともに、副作用リスクをできるだけ少なくする方策を探る必要がある。

厚労省のまとめでは、過去の接種者のうち、体の広範囲にわたる原因不明の激しい痛みを訴えたのは38人。症例数は少ないことから、当初は14日の専門部会でも、現状の接種態勢を維持しながら調査を続けるべきだとする意見が多かった。それでも痛みの原因が不明な上、診断や治

| | |
|----------|---|
| 2009年10月 | 厚生労働省がグラクソ・スミスクライン社の子宮頸がんワクチン「サーバリックス」を初承認 |
| 11年7月 | 厚労省がMSD社のワクチン「ガーダシル」を承認 |
| 13年3月 | ワクチン接種を、原則無料の「定期接種」の対象として追加する改正予防接種法が国会で成立 |
| 4月1日 | ワクチンが定期接種に |
| 8日 | 民間団体が、重い健康被害に苦しむ中高生が出ているとして、接種中止を求める嘆願書を厚労省に提出 |
| 5月16日 | 1968件の副作用が報告されたことから、厚労省の専門部会はワクチン接種と健康被害に関連があるかどうかを調査すべきだとの意見 |
| 6月14日 | 厚労省は、積極的に接種を呼び掛けることを一時中止するよう全国の自治体に勧告 |

中国運輸局は14日、昨年6月に死亡事故を起こした松江市の一畑バス本社営業所が、運転手への安全指導が不徹底で道路運送法に違反したとして、バス3台を33、34日間の使用停止にした。

同社の高速バスは昨

一畑バス3台 使用停止処分

中国運輸局

他のワクチンとの比較

| | 副作用の 発生率 | 重篤な 副作用の 発生率 |
|------------------------------|-------------|--------------------|
| 子宮頸がん 予防ワクチン (サーバリックス) | 245.1 | 43.3 |
| 子宮頸がん 予防ワクチン (ガーダシル) | 155.7 | 33.2 |
| ヒブワクチン | 63.8 | 22.4 |
| 小児用肺炎球菌 ワクチン | 89.1 | 27.5 |
| 不活化ポリオワクチン | 23.8 | 5.3 |
| 日本脳炎ワクチン | 67.4 | 25.7 |
| インフルエンザワクチン | 7.5 | 2.3 |

(発生率は接種100万回当たりの発生数)